

名古屋南高等学校

星たちは苹果の味を知る～銀河鉄道と嘘～

作:名古屋南高校演劇部

◇概要◇

「僕」と「彼女」はある約束を果たすため、丘の上に来ていた。それは、数年前に「僕」が出会った、ある友人との約束。友達のいない「僕」は丘の上で「カンパネルラ」と名乗る子と出会い、その先に待っていたのは・・・?この作品は宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」をオマージュしたものです。

「嘘」って何だろう。そんな問いからこの物語は生まれました。



◇メッセージカードより◇

・路線の装置、星や流れ星、とても驚かされた舞台装置でした。各場面に散らばった僕の記憶の伏線、最後のシーンでとても「グッ!」ときました。美しくも愛しい嘘、感極まりました。(高1)

・ひみつが多くて気になっていたけど最後に弟から教えてもらったひみつが一番心に残っています。おもしろかったのは、何万年もほっても化石が出てこないところです。給料をもらえないのは、とても最悪だと思います(小4)

・初めて観させていただいたので最後の嘘、物語の点と点が伏線となって理解できた時は爽快な気持ちとなりました。そしてリンゴの意味も奥深い。キャストさん1人1人とても素晴らしかったです。特に少年のジョバンニ役の方の声が透き通るような声で、まさしく少年でした。(40代)

◇楽屋インタビュー◇

Q1. 脚本はどういった形でまとめたのでしょうか?

A. 2年生が中心となってまとめました。元々は概要の通りに「嘘」がテーマの親友が引っ越してしまふという物語だったのですが、話が「銀河鉄道の夜」に合っているという事で取り入れたところきれいにまとまりました。

Q2. 照明やセット、選曲にはやはりこだわりがありますか?

A. はい、こだわりました。色はこれがいいなといったことを部員に伝えて聞いていただきました。選曲は音響さんが歌詞を見て世界観にあっているものを選んでくれました。(「MAGIC OF LIFE」さんの「風花ノ雫」だそうです)

Q3. カンパネルラがまた再び会う時約束をしたときにしたもう一つの約束にはなにか意味が?

A. もしジョバンニが約束通りにその場に訪れたのならば、それはカンパネルラが望んだようにジョバンニが自分の世界でちゃんと向き合って生きていくことが出来たということになるからです。

Q4. 最後に、なにか皆さんからメッセージをいただけますか?

A. この劇は見て感動して貰い本当の幸せを問う物語で、それがお客様に届いていれればと思います。



【速報担当】渡辺 帆南(武生)

※ 名古屋南高等学校のみなさん お疲れ様でした!!